

あかるさかおるの スケッチブック

No.23

バックナンバーは、町ホームページで
まとめて読むことができます▶



“知識のみかんを支えるもの”

もうすぐ夏休みですね。我が家の長女も中学生になり、ぐんと学習量が増えました。頑張る姿は頼もしく、成長を感じています。

学ぶことは大切です。知識を得ること、挑戦すること、できるようになる喜びは、子どもたちの未来を支える力です。親である私自身も、学びを通して子どもの可能性が広がってほしいと願っています。でも、娘を見ているとふと考えます。子どもたちは、何のために勉強しているのだろう。良い点を取るため？褒めてもらうため？期待に応えるため？

大人である私たちは、子どもの未来を思うあまり、つい目に見える成果に関心が向きがちです。何時間勉強したか、どれだけきれいにノートをまとめたか、何点取れたか…。けれど本当の学びとは、「もっと知りたい」という、自分の内側から湧き上がる好奇心から始まるものなのではないでしょうか。

先日、下の子が通う小学校で、心に残るお話を聞きました。子どもの育ちを鏡餅に例えると、下のお餅は「体」、上のお餅は「心」、そして一番上のみかんは「知識」。私たちはつい、知識というみかんを大きくすることに一生懸命になってしまします。でも、土台となる体と心が健やかでなければ、大きなみかんを支えることはできません。

十分な睡眠を取る。体を動かすこと。安心して自分の気持ちを話せること。何もない時間の中で、自分の心と向き合うこと。そんな一見「余白」のように見える時間こそ、人を育てるかけがえない経験なのではないでしょうか。

この夏、子どもたちの「学ぶ力」だけでなく、「育つ力」にも目を向けながら見守っていきたいと思います。



【このコラムを書いている人】

すがわら さやか
菅原 明香（あかるさかおる）

アライアンス
ナリワイ ALLIANCE 代表

通訳ガイドやアート活動、コミュニティづくりなども行う複業アーティスト。三川町在住、2児の母。

